

第11期東京都生涯学習審議会 第3回全体会 審議資料

令和元年11月25日

第3回全体会 次第

1 開会

2 議事

区市町村の中高生対象施設の取組に学ぶ

(1) 紹介①

文京区青少年プラザ b-lab

(2) 紹介②

調布市青少年ステーション CAPS

(3) 審議

3 今後の予定

4 閉会

2 議事

区市町村の中高校生対象施設の取組に学ぶ

(1) 紹介①

文京区青少年プラザ b-lab

館長 白田 好彦さん



中高生の秘密基地。

ビーラボ
b-lab

東京都生涯学習審議会 事例発表

未来は、つくれる。

KATARIBA

Shape the Future

文京区青少年プラザb-lab 館長
認定特定非営利活動法人カタリバ
シニアマネージャー
白田好彦

目次

1.団体概要

2.施設概要

3.施設の特徴

4.運営上の課題(事業者としての意見)

5.おわりに

団体概要

ビジョン・ミッション

未来は、つくれる。

Shape the Future

たくさんのもを失った被災地の子ども、
貧しい家庭環境の中で夢を諦めた子ども、
日々ただボンヤリと過ごす子ども。
どんな環境に生まれ育ってもすべての10代が、
未来をつくりだす意欲と創造性を育める。
NPOカタリバは、そんな未来の当たり前を
目指して2001年から活動する団体です。

Vision

私たちが実現したい社会

どんな環境に生まれ育っても、
未来をつくりだす力を育める社会

Mission

私たちが果たす使命

意欲と創造性をすべての10代へ

団体概要

全国で取り組む3つの活動パターン

すべての10代が意欲と創造性を育める未来を目指し、3つの活動パターンを全国で展開。

Pattern

1.

地域に10代の新しい居場所をつくる

塾でも児童館でも公民館とも違う、10代が放課後を中心に通ってくる居場所、サードプレイスをつくり、日常的にナナメの関係を届ける

#コラボ・スクール 被災地の放課後学校

- 1 岩手県大槌町 大槌臨学舎
- 2 宮城県女川町 女川向学館
- 3 福島県広野町 双葉みらいラボ
- 8 熊本県益城町 ましき夢創塾

#ユースセンター 中高生の秘密基地

- 4 東京都文京区 b-lab

#ラーニングセンター 困難を抱える10代の安全基地

- 5 東京都足立区 アダチベースcentral
- 6 東京都足立区 アダチベースnorth
- 7 島根県雲南市 おんせんキャンパス

Pattern

2.

学校や地域にプログラムを届ける

学校や地域で行われる授業やイベントで、ナナメの関係を軸にした10代の心に火を灯すプログラムを届ける

#出張授業カタリ場 心に火を灯す授業

#全国高校生マイプロジェクト 高校生主体のプロジェクト型探究学習

40以上の団体・高校と連携し全国各地で実施

Pattern

3.

高校や行政の中に入り学校と社会をつなぐ中間支援

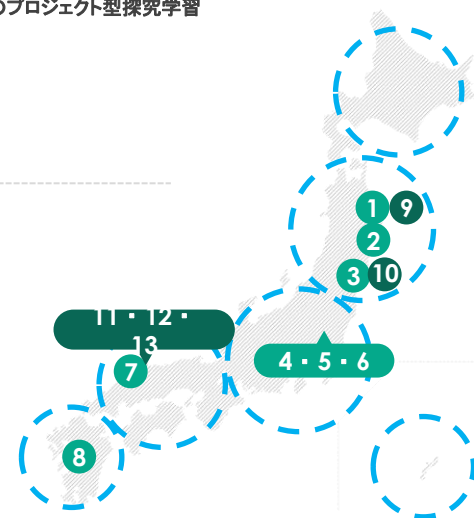
高校・行政の中にスタッフが常駐し、先生や教育委員会のサポートをしながら学校を社会に開き地域資源をナナメの関係の担い手に転換する

#教育行政支援

- 9 岩手県大槌町教育委員会
- 13 島根県益田市教育委員会

#高校支援

- 10 福島県立ふたば未来学園高校
- 11 島根県立三刀屋高校
- 12 島根県立大東高校



※西日本豪雨の被災地教育行政支援も実施

団体概要

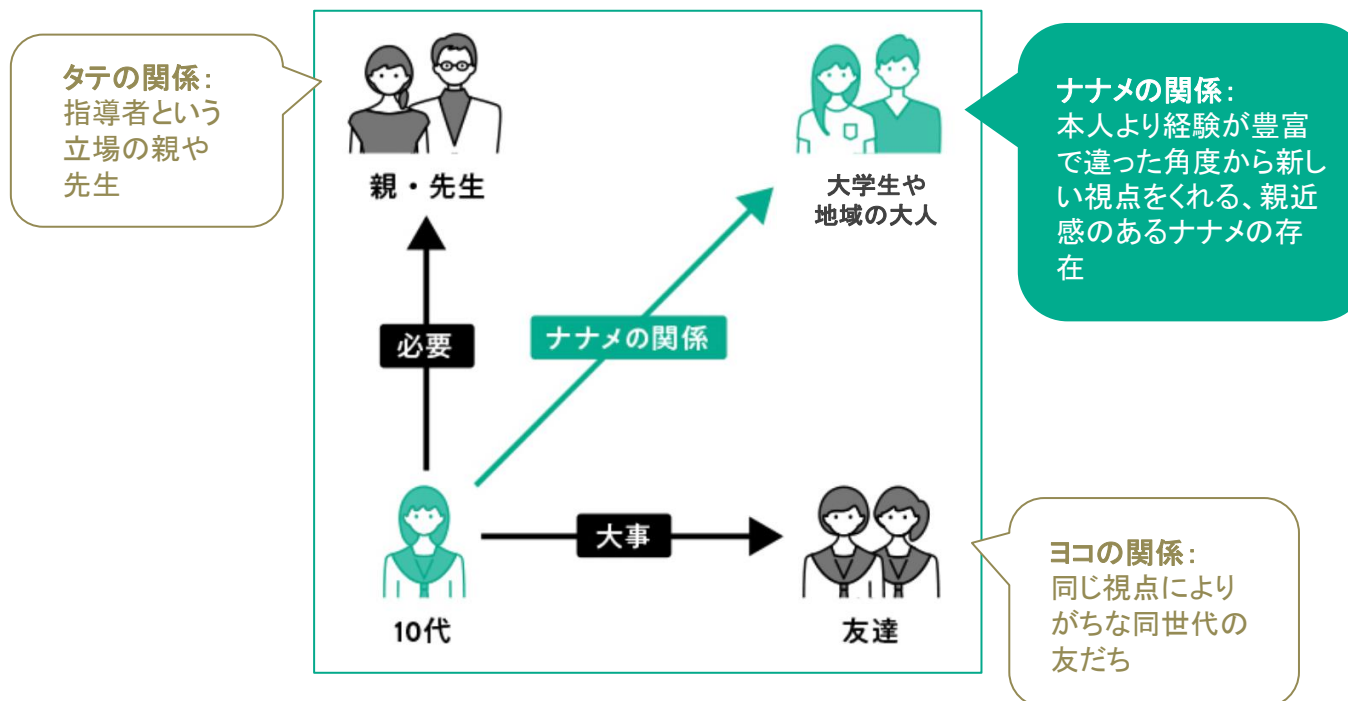
すべての活動の軸におく「ナナメの関係」

指導者という「タテの関係」にある親でも先生でもない。

同じ視点に寄りがちな「ヨコの関係」にある同世代の友だちでもない。

本人よりも経験が豊富で違った角度から新しい視点を与える、親近感のある少し年上の先輩や大人という

「ナナメの関係」だから話せる本音や、生まれる憧れが、10代の意欲と創造性を引き出すと考えています。



施設概要

文京区の中学生・高校生が、放課後や休日を自由に過ごすことができる「秘密基地」

* 文京区が設置し、開館当初からNPOカタリバが業務委託で運営(2期目)



運営体制

常勤職員:7名

非常勤職員:7名

学生インターン:11名

学生ボランティア:15名

施設の周辺について

- ・近隣校からの来館が比較的多いです。
- ・地下鉄等、交通網が充実しているため、文京区全域から来館があります。

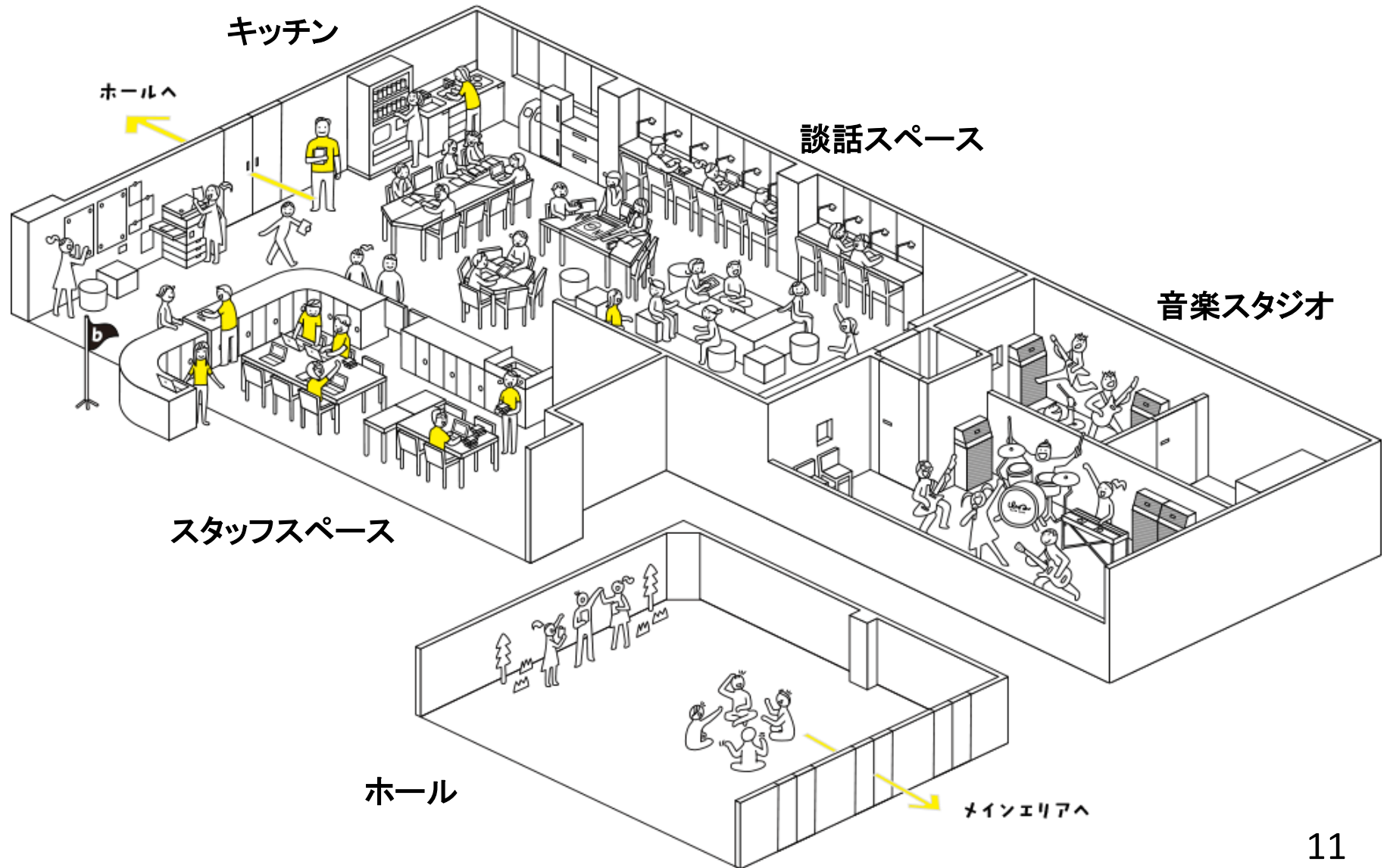


中学校 ...**28**校

高等学校...**26**校

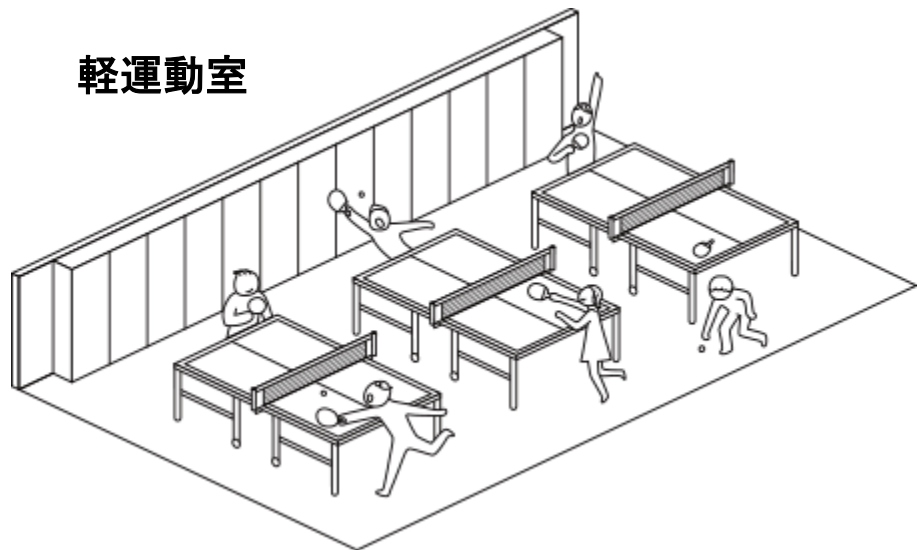
児童館 ...**16**館

施設紹介



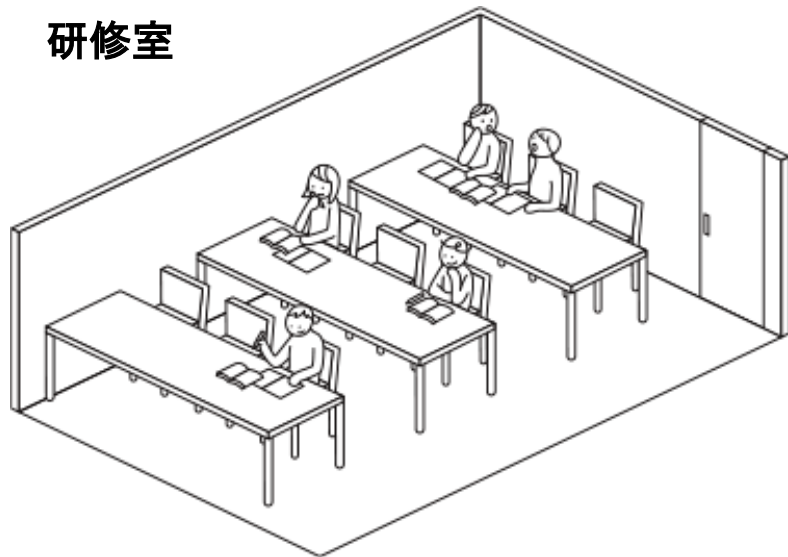
施設紹介

軽運動室

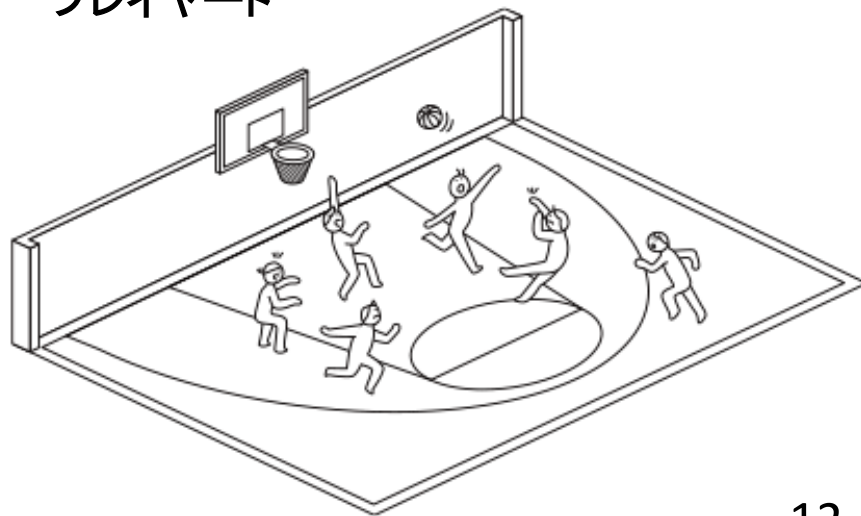


中高生が思い思いに
自由に過ごせるスペース

研修室



プレイヤード



施設の設置目的(コンセプト)



中高生の
秘密基地。
ビーラボ!

- 「何かやってみようかな」を応援する
- 様々な人との関わりから社会性を育む
- 地域の中の自分を自覚する

1. 居場所

中高生が自分らしく自由に過ごせる場で、
新たな興味関心に出会ったり、自分の可能性に気付いたり、
様々な仲間と交流したりする「きっかけ」がある。

2. ステージ

中高生が主役となって、周囲を巻き込みながら
自分のやってみたいことや挑戦したいことに、
主体的に取り組む活動を応援する。

施設の特徴

1. **中高生の主体的な活動を支える**
2. **「若者」が中高生と共に成長する**
3. **偶発を生む多様な場がある**
4. **権利の主体であることを知る**

施設の特徴: 中高生の主体的な活動を支える

【中高生スタッフ】

b-labで「こんなことやってみたい!」と思うことを実現しようと
様々な活動をする中高生や、「b-labをもっとこうしたい!」という
思いをもとにこの施設の運営に関わる中高生たち。



概要

活動期間: 4カ月程度

人数: 40名程度

活動内容

イベントの企画・運営

広報紙の作成

自主プロジェクトでの活動

b-labの未来を考える etc

施設の特徴: 中高生の主体的な活動を支える

NPOカタリバの取り組み「マイプロジェクト」

マイプロジェクト

身の回りの課題や関心をテーマにプロジェクトを立ち上げ、
実行することを通して学ぶ、探究型学習プログラム。
言葉の通り、「マイ」という当事者が主体的に設定した「問い」を、
「プロジェクト」として実際に行動に移すことに重きを置いています。

〈マイプロジェクトでの学び〉

step.1 PLANNING プロジェクトをつくる!

- 1 自分を知る(興味関心・価値観を知る)
- 2 課題の設定
- 3 情報の収集
- 4 整理・分析
- 5 まとめ・表現



自分の関心をベースに
プロジェクトを作る

step.2 ACTION プロジェクトを実行する!

- 6 行動(実践を試みる)



実践と振り返りを繰り返すことで
学びを深める

step.3 REFLECTION プロジェクトを振り返る!

- 7 考えの更新(振り返り)

施設の特徴:若者が中高生と共に成長する

【フロアキャスト】

中高生の居場所をつくり、きっかけを届け、興味関心を引き出し、アクションを支えるボランティアスタッフ。「**ナナメの関係**」を紡ぎ、中高生に寄り添いながら、共に成長していく若者たち(主に学生・若手社会人)。



概要

活動期間:4カ月程度

人数: 15名程度

* 月1回の研修あり

活動内容

日常のコミュニケーション

中高生の自主企画の伴走

イベントの企画・実施 etc

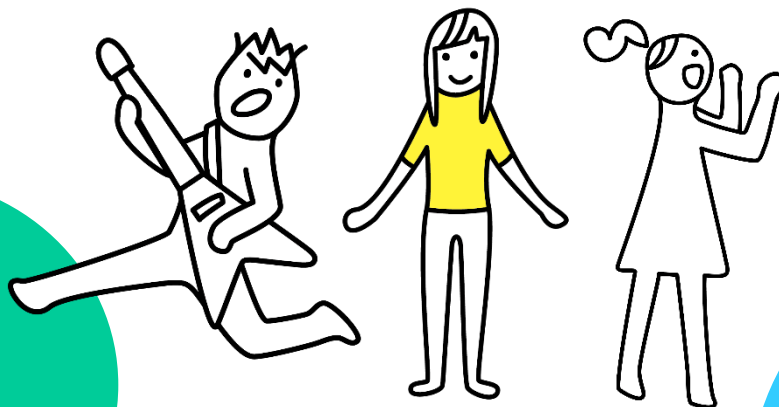
施設の特徴：偶発を生む多様な場がある

いくつかの
コミュニティ

多様性

いろいろな人

さまざまな
きっかけ



それぞれの
興味関心

施設の特徴：偶発を生む多様な場がある

居場所の要件

1. Being

ここにいてもいいことが、**無条件に承認される。**

2. 選択できる

いないこともできる。いなければいけない場所ではない。

「児童心理」2017年9月号 特集「自分の居場所」がない子
「ここにいていい」と実感できる場—子どもの居場所を考える
(著者:東京都小児総合医療センター副院長 田中 哲氏
文中より意識抜粋)

施設の特徴：偶発を生む多様な場がある

多様性のある居場所が
多様な子ども・若者に
多様な価値を届け続ける

施設の特徴：権利の主体であることを知る



Katori
Magazine
vol. 099

Report

施設の特徴：権利の主体であることを知る

欧州の「ユースワーク」の精神：青少年のためにではなく、ともに

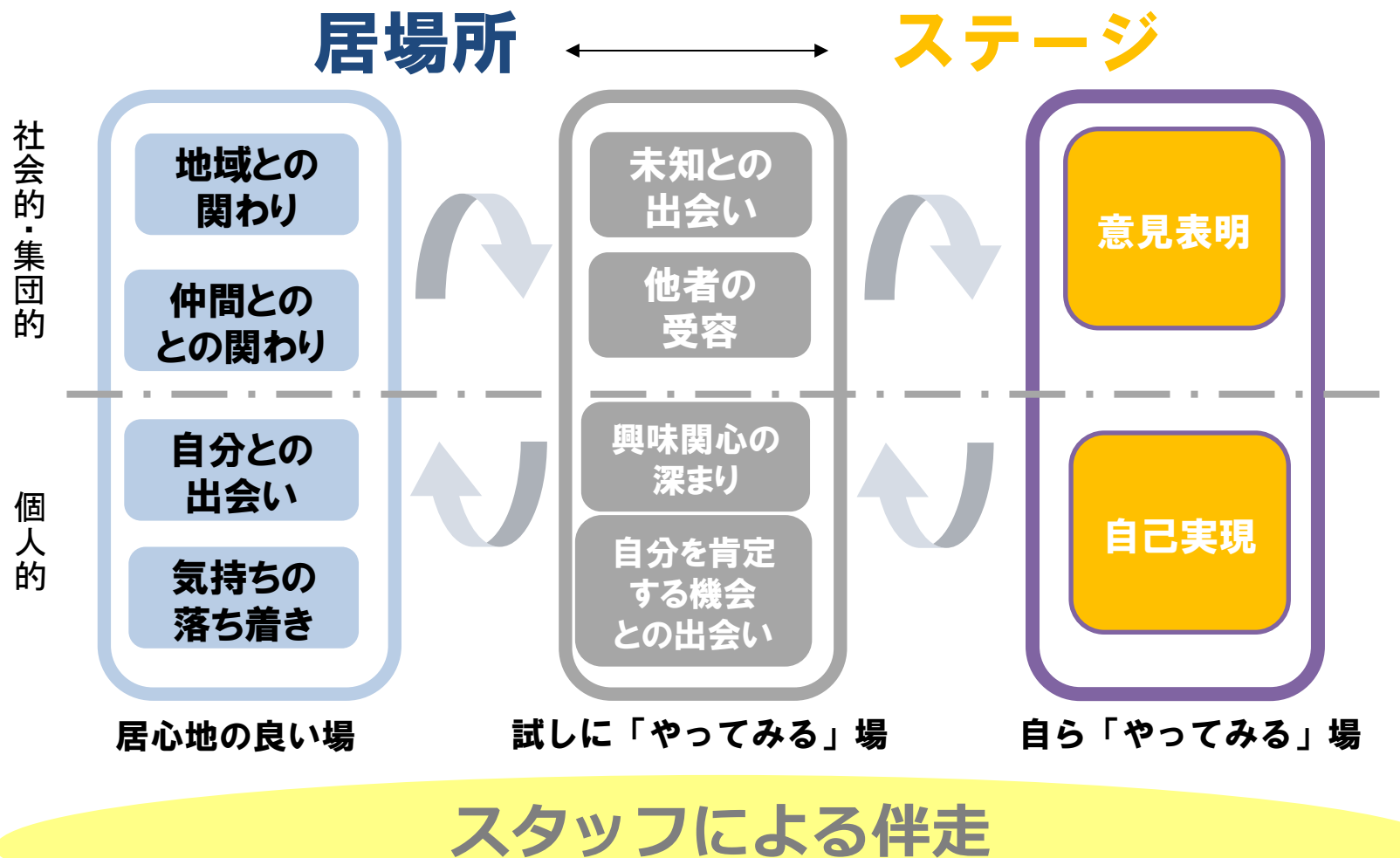
FUN

- ・ 若者の楽しいこと
(やりたいこと) を大切にする

RESPECT

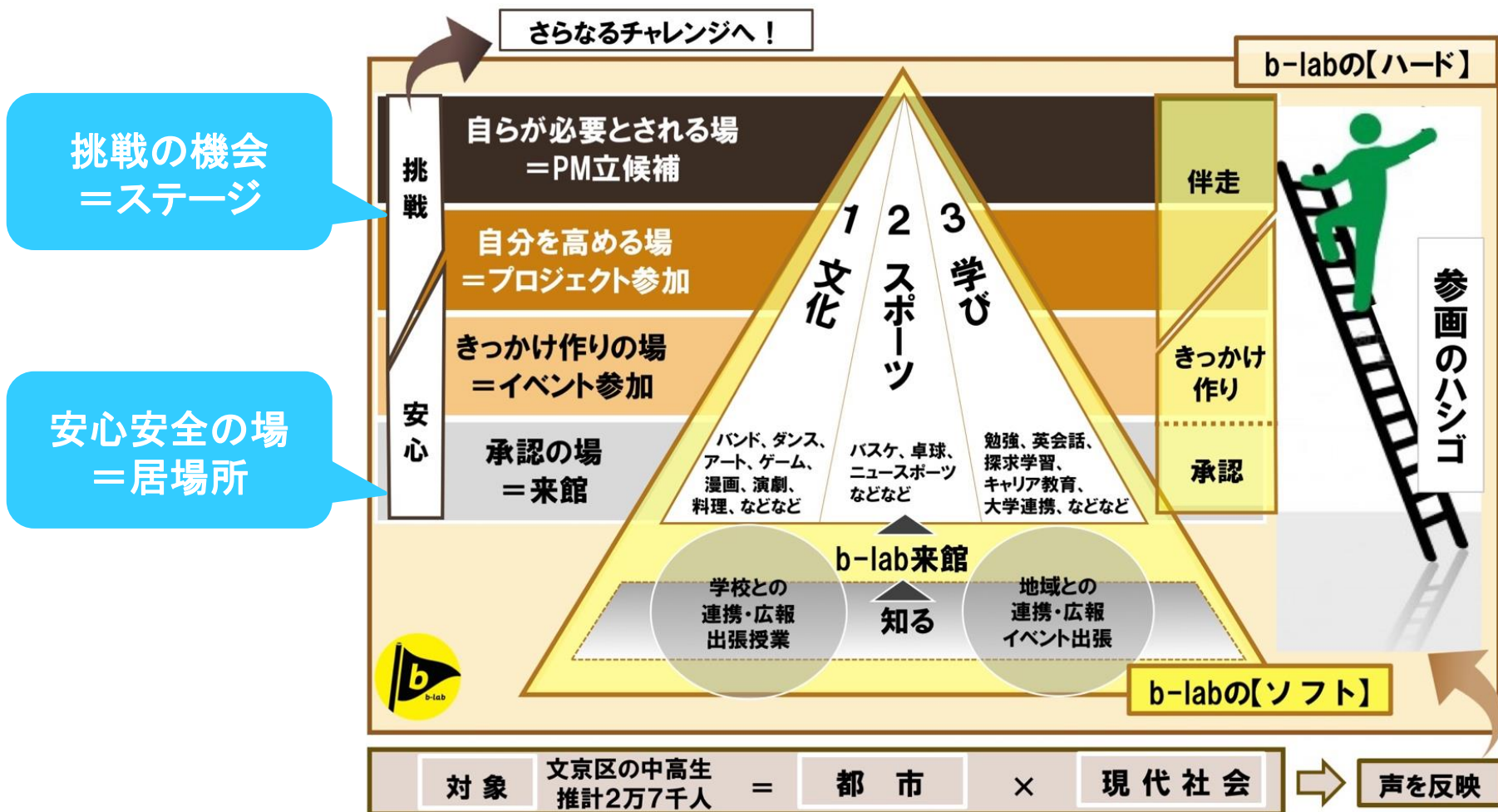
- ・ 大人側が
「青少年と一緒にやっていく」
という意識をもつこと
- ・ 互いの青少年活動を尊重する

施設の特徴：権利の主体であることを知る



主催事業の考え方

参画と主体性を意識した設計



主催事業の内容



初恋と最後の恋のちがいは、知ってる?

feat.LGBT

恋愛テツガク cafe

special guest like

恋愛を語るジェンダーフリーのカフェ、
b-lab に限定 OPEN!

8/2(Fri)17:00 ~ 19:00



にちようびのおやつ。

9月1日(日)15:00~17:00@b-lab



みんなで作る爆発的な芸術

絵具をぶちまける

9月7日 午後3時



漫画に学ぶ、漫画から学ぶ、漫画で学ぶ

漫画喫茶 Vol.10

本日のお題 「愛の形」

ズキッと胸の奥がうすくあの漫画を語るの?!

9月17日(火) 17:00 - 18:30

担当スタッフ：かじくんとんちゃん



新入部員募集!

b-lab ギター部

9月2日(月) 17:30 START

音楽好きが集って、「何か」を生み出す時間。

施設運営上の課題 ※事業者としての意見

1. 「専門職」の必要性
2. 多様性を担保する人材確保
3. 地域人材の巻き込み
4. 学校教育との連携

学校教育との連携

キャリア教育事業「出張b-lab」の実施

1-自己紹介



先輩と高校生数名で班をつくり、ワークシートを使ってお互いについて理解しあう自己紹介パート。

2-先輩の話



自分の関心や境遇に近い内容を選び、先輩の探究ドラマを聞く紙芝居形式のプレゼンテーションパート。

3-座談会



班に戻り先輩の話の感想を切り口にワークシートを使って自分自身について深掘りを行い、価値観や関心を見つけるパート。

4-まとめ



接続先の授業に応じて自分の考えをまとめたり、次のアクションを決めたりする最終パート。



勉強や部活、友だち関係、そして進路のことなど生徒の普段の悩みについて、先生や親、友だちでもない、少し年上の大学生スタッフが生徒と語り合う場を創ります。プログラムの最後には、文京区青少年プラザb-labをご紹介します、「やってみたい」「話したい」といった思いを打ち明けられる場があることをご紹介します。

学校教育との連携

【提案】学校外における学修の単位認定制度活用

● 学校外における学修の単位認定

概要

高等学校の生徒の能力・適性、興味・関心等の多様化の実態を踏まえ、生徒の在学する高等学校での学習の成果に加えて、在学する高等学校 以外の場における体験的な活動等の成果をより幅広く評価できるようにすることにより、高等学校教育の一層の充実を図ることを目的として、各学校長の判断によって、高等学校の単位として認定することが可能となっています。

まず、平成5年度から、他の高等学校(又は自校の他の課程)・専修学校(専門学校を除く)における学修の成果や技能審査の成果について、単位認定が可能となりました。

また、平成10年度から、大学・高等専門学校・専門学校・社会教育施設など における学修の成果、ボランティア活動・就業体験(インターンシップ)・スポーツ又は文化に関する分野における活動に係る学修の成果についても、単位認定が可能となりました。

さらに、平成17年度からは、上記により認定できる単位数の上限が、20単位から36単位に拡大されました。

1 学校間連携(学校教育法施行規則第97条)

校長は、生徒が他の高等学校において一部の科目の単位を修得したときは、修得した単位数を全課程の修了に必要な単位数に加えることができます。単位数の上限は、(1)から(4)までを合わせて36単位までとなっています。(学校教育法施行規則第99条)

また、この制度は、同一の高等学校に置かれている課程間の併修についても適用されます。なお、下記7の定通併修による単位認定については、本制度の対象外です。

2 議事

区市町村の中高校生対象施設の取組に学ぶ

(2) 紹介②

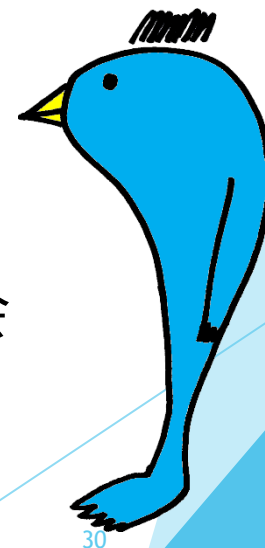
調布市青少年ステーションCAPS

館長 平澤 和哉さん

主任 北村 真さん

卒業生 大澤 卓巳さん

調布市青少年ステーションCAPS 施設紹介



2019.11.25 (月) 東京都生涯学習審議会
調布市青少年ステーション CAPS
NPO法人ちょうふこどもネット
北村 真

① 青少年ステーションCAPS概要



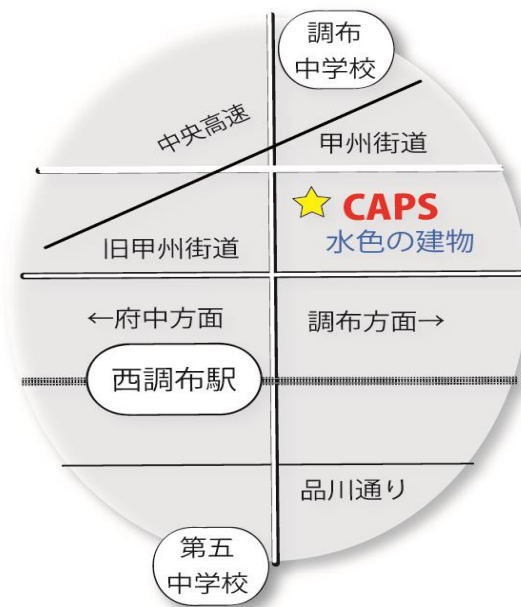
平成15年に調布市が開設した
中学生・高校生世代向け児童館

開設時は調布市直営

→平成19年より「NPO法人ちょうふこどもネット」が受託運営

1日平均80人ほどの中・高校生世代
が来館

② 施設概要



住所 : 東京都調布市上石原1丁目36番地2 ハヤシビル
4階建てビルの3・4階部分 1, 285.25㎡

電話 : 042-442-5535

FAX : 042-442-5537

交通 : 京王線西調布駅徒歩5分

開館時間 : 10:00~20:00

休館日 : 毎月第2・4月曜日(土・日・祝日は開館)及び年末年始

利用対象 : 調布市内の中学・高校在学中又は在住・在勤者

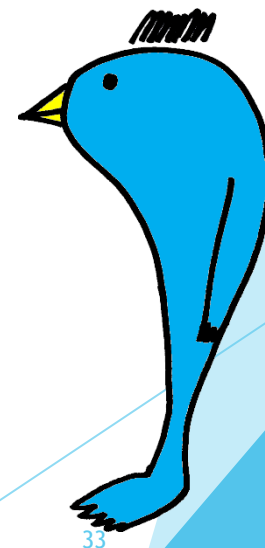
※原則18歳を迎えた年度末まで

③ 施設の周辺について

青少年ステーションCAPS近隣に存在する、来館者に関わる施設。

- ▶ 市立中学校 2 校、私立中学校 1 校
- ▶ 都立高校 3 校、私立高校 1 校
- ▶ 市立中学校 1 校に特別支援学級
- ▶ 都立特別支援学校高等部 1 校
- ▶ 児童養護施設 2 か所

※全て自転車で 20 分圏内



④ 施設紹介～3F～

3F

ステージ

ロビー

パソコンも
貸出しています

鏡張りのダンススタジオ。

ダンススタジオ

(ダンシングトレイン)

テラス
癒しの場、
テラス。

放送室

音楽スタジオ

(スタジオトレイン)

1

2

ロッカー

ドラム・アンプ・マイクシステム完備。

楽器類の貸出もしてます。

非常口



階段4Fへ

エレベーター



受付

会議室

クラフトルーム

(マイスタートレイン)

ものづくりの
道具や材料が
そろってます

トイレ

女子

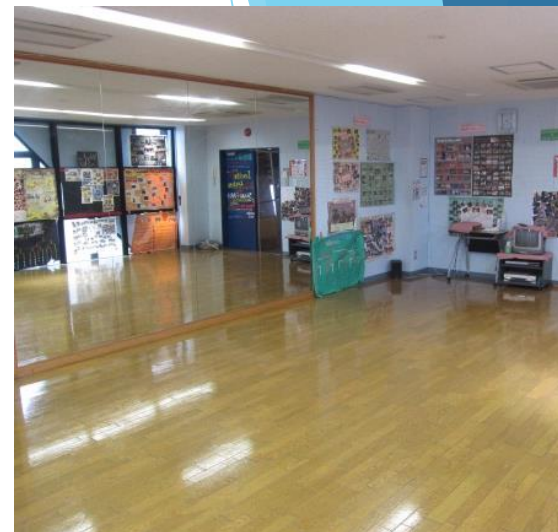
男子

事務室

相談室

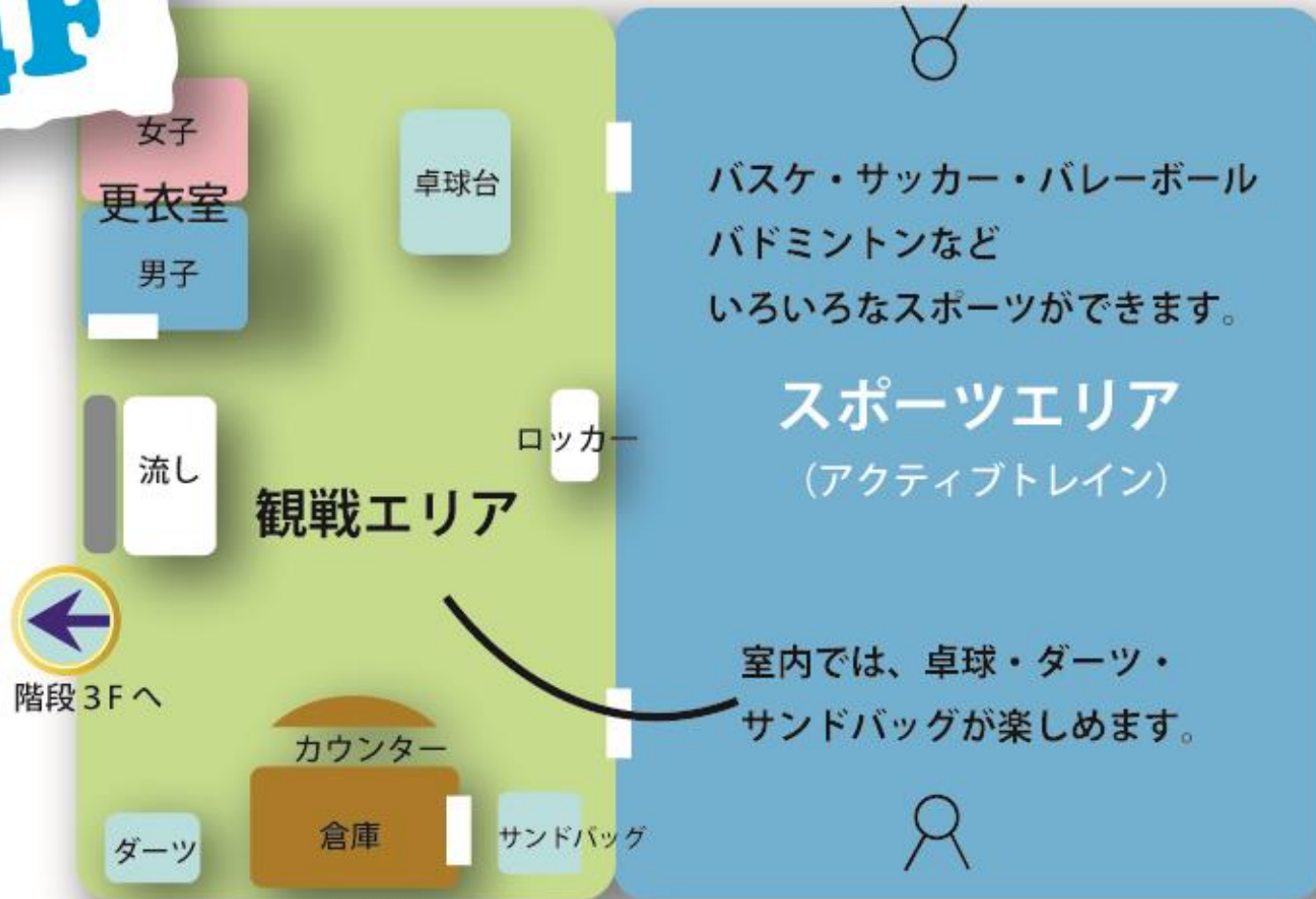
ゆっくり話したいときはこちら
スタッフが笑顔で出迎えます♪

④ 施設紹介～ 3 F～

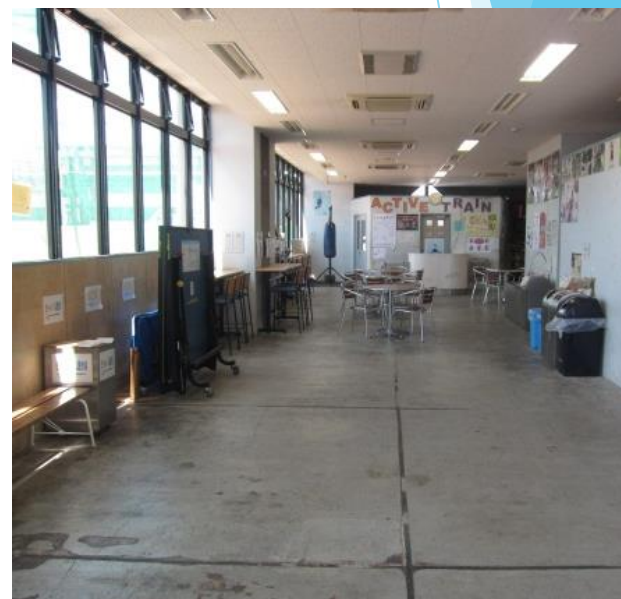


④ 施設紹介～ 4F～

4F



④ 施設紹介～ 4F～



⑤ CAPSのコンセプト

青少年ステーションCAPSは、「家」、「学校」でない、中・高校生世代が過ごすことができる第三の「いばしょ」です。

- ▶ 「居場所」・・・安心・安全に過ごすことができる場所
- ▶ 「活場所」・・・音楽、ダンス、クラフト、スポーツ、サブカルチャー等の活動が出来る場所
- ▶ 「生場所」・・・中・高校生世代が自主的にイベント等の企画・運営が出来る場所

⑥ 施設の特徴

- ▶ 自由来館
- ▶ 10:00～20:00まで開館
- ▶ 全ての中・高校生世代が主な対象者
- ▶ 目的を持って来館する利用者のための設備がある
- ▶ なにかをしなくてもよい空間・時間を保障する
- ▶ イベントをとおして行事を体験しなおすことができる
- ▶ 臨床心理士がいる
- ▶ 調布市子ども・若者支援地域ネットワークの一員である
- ▶ いつでも誰かいる

⑥ 施設の特徴

▶ 自由来館

来館することを、だれかに強制されない。
自分で居ることを選んで来館できる場所。



⑥ 施設の特徴

▶ 10:00～20:00まで開館

朝から来館してもよい。

夜までいることができる。

会いたくない人に会わないように時間を選べる。



⑥ 施設の特徴

▶ 全ての中・高校生世代が主な対象者

学校に通っていてもいなくても、

発達に偏りがあってもなくても、

お金持ちでもそうではなくても、

中・高校生世代なら

無料で、居ることが

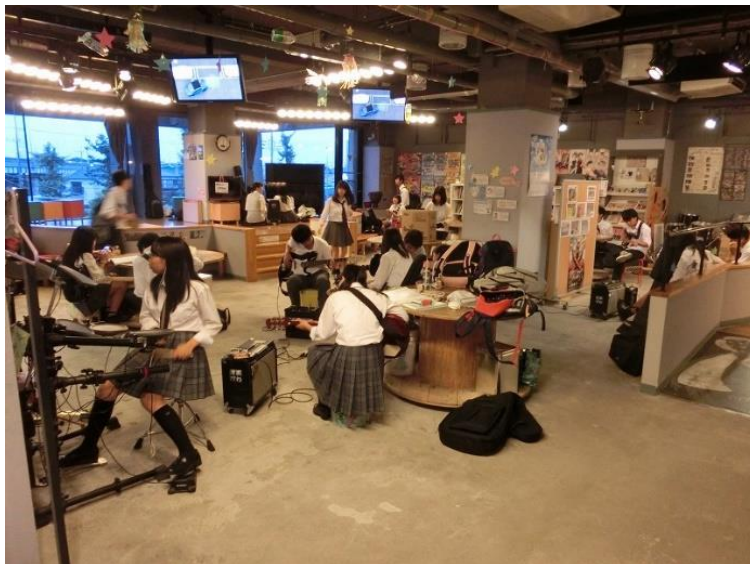
できる。



⑥ 施設の特徴

- ▶ 目的を持って来館する利用者のための設備がある

バンドやダンスの練習、仲間とのスポーツ、お絵描きや物づくり、友達とのゲームもできる。



⑥ 施設の特徴

- ▶ なにかをしなくてもよい
空間・時間を保障する

なにもしたくない気分の時に、

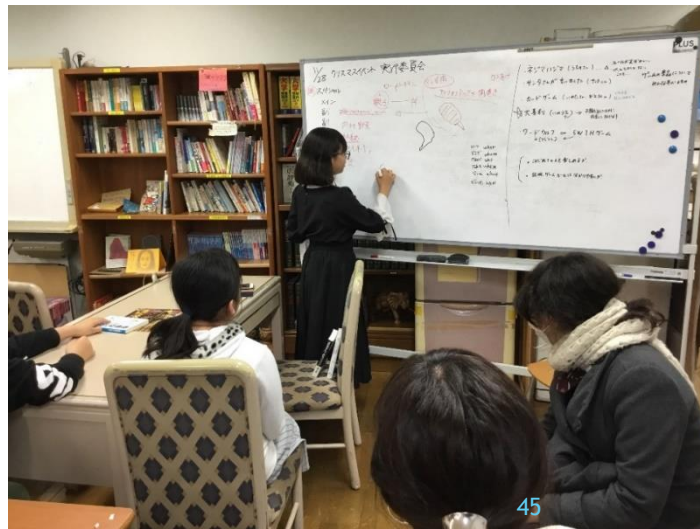
なにもしないことを選ぶことができる場所。



⑥ 施設の特徴

- ▶ イベントをとおして
行事を体験しなおすことができる

自分で選んでイベントの実行委員になったり、
イベントに参加して、自分のこととして
行事を体験できる。



⑥ 施設の特徴

▶ 臨床心理士がいる

いつも利用者と接している職員が悩んだときに
アドバイスできる臨床心理士がいる。

職員が、自信をもって利用者に接することができる。



⑥ 施設の特徴

▶ 調布市子ども

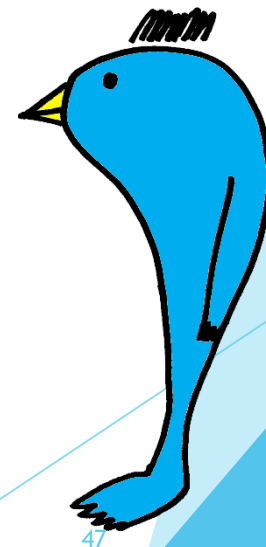
- ・ 若者支援地域ネットワークの一員である

気になる中・高校生世代の情報を守りながら
共有するネットワークの一員である。

CAPSができることを引き受け、

その子にとって他に適切な場があれば

そこを紹介し合える関係ができています。



⑥ 施設の特徴

▶ いつでも誰かいる

なにか嫌なことがあった時でも

CAPSへ行けば誰か知り合いが来ている。

知り合いがいなくても職員がいて、

いつもみたいに「お！こんにちはー」と

声をかけてくれる。



⑦ CAPSの14の事業

カテゴリ	主な内容
音楽	音楽スタジオ、楽器の貸出し、ライブやレッスンの開催
ダンス	ダンススタジオの貸出し、バトルやワークショップの開催
クラフト	ハンドメイドレッスンの開催、イラストコンテストの実施
スポーツ	スポーツ設備の貸出し、スポーツイベントの開催
学習	学習のための環境整備、学習指導
サブカルチャー	貸出しゲームや漫画の管理、カードゲーム大会の開催
IT	パソコンの貸出し、ネットマナー講習の開催
相談	相談対応、不登校生徒への対応、各機関との連携
支援スタッフ	卒業生によるボランティア制度
地域交流	地域イベントへの出演、他の児童館への出張講座
国際交流	調布市国際交流協会（CIFA）との交流イベントの開催など
サークル	ソーラン節同好会「和鷲」、ミュージカル合唱部、軽音部
非行防止	たばこやドラッグなどの注意喚起の掲示物作成
イベント	三大イベント（夏祭り、クリスマスパーティー、卒業記念イベント） 季節のイベント（新入生歓迎イベント、七夕、ハロウィン） など

⑧ 子ども達に足りていないと感じるモノ

▶ 家と学校以外の場

与えられた役割（息子・娘、生徒、先輩・後輩、キャラetc…）ではなく、自分自身でいられる場。

▶ 失敗できる場

「どうせできないからやらない…」という声。
失敗よりも、その挑戦を認められる場。
どんな挑戦も面白がってくれる場。

⑨ 不登校とCAPS

▶ 学校へ行くべきという決まり

「学校へ行かないといけない」ということを、
子ども達はみんな分かっている。

▶ 学校へは行けないという気持ち

「でも、学校へは行けない」と、
心と身体が言っているとしたら。

⑨ 不登校とCAPS

▶ 学校の対応

先生方が、自分を登校させようと努力されているのを子ども達はよく分かっている。

▶ 保護者の気持ち

保護者、特に母親が自分とその未来を心配しているのは痛いほど分かっている。

でも…

⑨ 不登校とCAPS

▶ CAPSだからできること

⑥ 施設の特徴 を参照。

▶ CAPSだから難しいこと

児童館という枠組み。

⑨ 不登校とCAPS

- ▶ 平成28年5月20日に文科省・厚労省連名の局長通知「生徒指導、家庭教育支援及び児童健全育成に係る取組の相互連携の推進について（依頼）」

児童の健全育成に当たっては、地域での多彩な活動の実績を有し、学校関係者とは異なる視点で子供や家庭の悩みや問題の解決にかかわることができる特性を生かして、民生委員・児童委員、主任児童委員、民生委員児童委員協議会、放課後子ども総合プラン関係者等が継続的に学校関係者と情報の共有を行い、連携・協力が図られるよう努めるとともに、例えば、民生委員・児童委員、主任児童委員が地域の家庭教育支援チームに参画するなど、家庭教育支援関係者との一層の連携が図れるよう努めること。

また、児童館等では、健全な遊びを通して、児童の自主性、社会性、創造性を高めるよう指導を行っているところであり、児童の健全育成の観点から、児童の社会活動参加への理解、協力等の支援について、学校等との更なる連携を図るよう努めること。

▶ ご清聴ありがとうございました。

2 議事

(3) 審議

3 今後の予定

第4回 令和元年12月19日〔木〕
18時から20時

第5回 令和2年3月17日〔火〕
16時から18時